



## 令和4年度上半期の主な活動報告

### 安佐地区訪問看護ステーションの活動状況把握・公開検討WG会議（広島市北部在宅医療・介護連携推進委員会）

今年度の取組として、安佐地区の訪問看護ステーションの活動状況に関する情報収集を行い、対応可能エリア等の各ステーションの特徴をまとめ、ホームページ等に公開することとしています。この度、その取組の検討・実施のためにWG会議を開催し、公開する項目を、安佐地区やその周辺における医療機関、訪問看護ステーション、介護事業所等にとって役立つものに整理の上、センターのホームページでの公開に加え、冊子を作成・配付することになりました。現在、12月頃の公開に向け準備を進めているところです。



### 安佐地区医療介護連携マニュアル2021年改訂版の広報・周知

昨年度改訂しました安佐地区医療介護連携マニュアル2021年改定版について各職能団体の研修会、圏域ごとの多職種連絡会、センターオンライン研修会等で活用状況の調査や広報周知活動を行いました。



### 安佐地区医療介護連携マニュアル別冊の更新

安佐地区における連携窓口、地域包括エリア別リスト（診療所・歯科・薬局・介護事業所等）2022年度版を発行しました。是非ご活用ください。



### 令和4年7月1日オンライン研修会を開催しました

特別講演：「認知症治療と介護・福祉の連携してどうなった～診断から、日々の対応・生活改善～」

講師：片山内科クリニック 院長 片山禎夫 先生

令和4年7月1日（金）19時から研修会をオンラインで開催し、当日は150名の方にご参加いただきました。研修会では片山先生より、認知症の検査、治療、リハビリテーション等に関する最新情報や本人や家族に対する声かけや支援の実践を伺いました。研修会の参加者からは、講演にて認知症の早期発見、早期診断、早期治療の重要性を再確認できたとお声や、各専門職が本人や家族の抱える思い、不安に寄り添って、かかわる大切さを改めて実感できたとの感想をいただくなど大変貴重な時間となりました。

### 令和4年度安佐地区ケアカンファレンス推進協議会が開催されました

テーマ：「がん患者の在宅看取り」

- 安佐地区医療介護連携マニュアル2021年改訂版の活用状況について
- カンファレンスの事例発表「がん看取り～コロナ禍でも皆で支えていくため多職種連携で支援した事例～」
- ミニ講演講師：①高橋内科小児科医院 高橋祐輔先生 ②すずらん薬局川内店 土ヶ内悠人先生  
③広島県看護協会訪問看護ステーション「ひびき」 栗原富江先生 ④亀宝歯科医院 藪健一郎先生  
⑤日本基準寝具株式会社エコール事業部 砂田剛志先生 ⑥にのみや居宅介護支援事業所 原田雄介先生

令和4年11月11日（金）19時から安佐地区ケアカンファレンス推進協議会がオンラインで開催され、当日は242名の方にご参加いただきました。事例発表では、模擬カンファレンスを通じて、各専門職が本人の気持ちを尊重し、在宅療養をチームで支えることの大切さを確認しました。またミニ講演では、がん患者の在宅看取りに対する治療、支援における視点や工夫等を学ぶことができ、今後の実践の参考になる研修となりました。

### 今後の予定

○安佐地区地域ケアフォーラム2022

日時：令和5年2月18日（土）14時～ 開催方法：オンライン（Zoomウェビナー）

テーマ：「高齢者の精神疾患について ～“こころ”を支える地域づくりにむけて～」

内容：基調講演：ふたば病院 高見浩院長

シンポジウム（行政機関・歯科医師・薬剤師・訪問看護師・ケアマネジャー・認知症初期集中支援チーム員）

よろしくお祈りします



広島市北部在宅医療・介護連携支援センター

検索

# 「あさオレンジだより」

2022年秋号



安佐南区・安佐北区では広島市から委託を受けて、安佐医師会に、認知症初期集中支援チーム（オレンジ支援チーム）が配置されています。チームの活動は認知症の方やその疑いがある方、その家族をチーム員が訪問し、本人や家族に困りごとを確認し、適切な医療や介護サービスにつなげるための初期支援を集中的に行っています。また、チーム員会議で必要と判断された場合、チーム員医師とのアウトリーチも行っています。これからも地域の関係機関の皆様と連携しながら、認知症の方が安佐地区で安心して自分らしく暮らしていけるよう努めてまいりますのでぜひご活用いただければと思います。

## 安佐地区オレンジ支援チーム員のご紹介

【安佐南区】 チーム員医師 ◎チーム長	【安佐北区】 チーム員医師 ◎チーム長	チーム員専門職
◎頼島 敬 医師（よりしま内科外科医院） 村田 裕彦 医師（広島共立病院） 地主 和人 医師（地主クリニック） 箱守 英雄 医師（安佐病院）	◎山下 拓史 医師（安佐市民病院） 高橋 祥一 医師（高陽ニュータウン病院） 増岡 俊治 医師（沖野医院） 真島 宏海 医師（児玉病院）	中原 直子【安佐南区主担当】 徳満 誠司【安佐北区主担当】 倉本 佳恵美

## 広報・周知活動報告

【安佐南区】

【安佐北区】

- 令和4年6月15日（水）安佐南区地域包括支援センター研修会
- 令和4年8月19日（金）戸山・伴・大塚民生委員研修会
- 令和4年7月22日（金）亀山民生区民生委員定例研修会

チームは広報・周知活動として関係機関の方々にチームのことをより知っていただくため、また認知症の理解を深めていただくためにチームの活動紹介、チーム員医師による認知症に関する研修会の開催を行っています。

## チーム員医師からのメッセージ

### 安佐南区チーム員医師 箱守 英雄 医師

認知症初期集中支援チームの活動は、地域包括支援センターのみなさんや安佐医師会のみなさんと協同して活動する「多職種チーム」の活動です。多職種チームが力を出し合えば、困難な事態を打開していくことができます。

この活動で思うことは、認知症が進行している人たちが、まわりから、いかに阻害され孤立しているか、ということです。認知症が進行すると、被害妄想を持つ人が増えてきますが、地域からは、“変な人”と思われ、距離を置いて対応されることが多いです。また、家族内では“厄介者”として邪魔者扱いされています。最終的には配偶者からも見棄てられてしまいます。

だから、わたしたちは、認知症の人に寄り添って、その人が感じていることに共感を持って接していかなければなりません。



### 安佐北区チーム長 山下 拓史 医師

いつもオレンジ支援チームの活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。さて、既にご覧になった方も多いと思いますが、映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」を遅ればせながら鑑賞しました。信友直子監督が呉市に暮らす両親を3年余り記録した映画ですが、認知症が進みだんだんと衰えていく妻を、高齢で弱った夫が一人で健気に最後まで支え続ける姿には心を打たれ、老夫婦の姿を通して認知症という難病の本質に迫る素晴らしい作品だと思いました。

認知症外来をしていると、老夫婦二人暮らしの片方が認知症で、もう片方がその方を献身的に介護しているケースがしばしばみられ、自分の将来の姿と思いながら診療を行っています。医療と介護と福祉の連携が欠かせないのが認知症であり、もし介入が必要な方がおられましたら、オレンジ支援チームにご連絡をよろしくお願いいたします。

